

HSK NPO 法人「文福」ニュース*****



「障」ちゃん



NO.297

冒頭の一言

3月に入り、暦の上では春でもようやく来たなと実感できるようになってきました。

雪が降る富山では、雪が解け、暖かい陽気に包まれ、桜の開花予想を聞くと春がきたなあと思う人もいるかと思います。冬の間あまり外に出れなかった分や、春の陽気に誘われて外に出る人も、お出かけが楽しくなる季節になってきますね。花粉症の私は外出は皆さんに任せて、家で春を感じたいと思いますが。

春は新しい始まりの季節でもあります。環境が変わる人も変わらない人も新しい季節を楽しんでいきましょう。

ゆき

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	富山短期大学健康福祉学科へ行ってきて … 2-3
ポッチャお知らせ … 4	レクリエーション部会議報告 … 5
「障」ちゃんニュース編集会議報告 … 6	障害者部会会議報告 … 7-8
運営会議記録 … 9-10	今後の予定… 11
ありがとうコーナー … 12	

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
HSK 毎月二二回（一、三、五、八、一〇、一三、一五、一八、二〇、二三、二五、二八日）発行

富山短期大学健康福祉学科へ行ってきて

中村かおる

1 月 14 日に富山短期大学健康福祉学科1年生の『重度障害者から学ぼう』というカリキュラムの一環で、健康福祉学科の中島先生とのトーク形式で話しをさせてもらってきました。まず自己紹介や自身の生活の事と、文福の活動紹介をしました。

文福の紹介として「文福の目的としては障害者と健常者が一緒になって障害者の社会参加を進める事と、障害者の仲間づくりや、障害者の声や要望を行政や社会の人々に訴えてそれを実現する事など、他には障害者と健常者の交流として、『レクリエーション企画』、『障害者の相談、障害者の権利事業の事』や『障害者についての事の学びや、色々な差別についての学習会活動』等を定期的に行っています。そして障害者の自立生活を支えるという事で、ヘルパー派遣事業を行っています。」と話し、次に自分の障害の事や生きてきた道とか、思い出深い出来事を話しました。

思い出深い事として話したのは、「25 年ほど前になりますが、小学 4 年生の子供達に話しに行く事があり、その質問コーナーで一人の子供さんから、『障害者に生まれてきて良かったと思う事は何か？』と聞かれました。私はう～んと考えて、『そうですね、障害者に生まれて良かった事はですね、私は障害が重いので自分では身の回りの事は何もできません。人に関わってもらわないと生きていけません。ですから大勢の人に関わってもらい、今まで生きてきました。大勢の人に出会えたのは私が重度の障害者だったからだと思っています。この大勢の人々から沢山の事を学びました。なので、この大勢の人との出会いは私の心の中の宝石だと思っています。

これからもこの心の中の宝石を大事にして生きていこうと思っています。

これが障害者として生まれてきて良かったと思う事です。それが私の半生の中で思い出深い出来事でした。」と話しました。

その後に、私が足でスマホや iPad やパソコンを操作している時の写真や、私が足で描いた絵をスクリーンに映し見てもらいました。

健康福祉学科の生徒さんからいくつもの質問を受けました。その中で 1 番印象に

残ったものを書きます。

「障害者に生まれてきて 1 番辛かった事、悲しかった事は何ですか？」の質問に私は、とっさに「私は母が大好きです。その母がくも膜下出血で倒れた時、私は母に何もしてあげられなかった。それが障害者として生まれてきて 1 番悲しくて辛かった事です。」これを話していると当時を思い出して涙ぐんでしまいました。

とり乱してしまった自分が恥ずかしかったですし、学生さん方にも悪かったと今でも思っています。

最後に私から学生さんへのメッセージとして、「私は本当に大勢の方に介助してもらい生きています。感謝の気持ちを忘れた事はありません。皆さんにお願いがあります。それは、この学校を卒業されて、介護施設、またはヘルパー事業所で働かれるようになられた時は、介護者のペースで利用者の介護をするのではなく、利用者一人一人に寄り添い、利用者の気持ちに耳を傾け、利用者の気持ちを尊重し支援して下さい。利用者としての、私からのお願いです。皆さんが良き支援者になれるのを願っています。」と私の話しを終わりました。

このような機会を与えて下さった、富山短期大学健康福祉学科の中島先生をはじめ、諸先生方に心から感謝いたします、とともに私のつたない話を真剣に聴いて下さった 1 年生の学生の皆さん、本当にありがとうございました。

また一つ私の心の中の引き出しに大切なものが増えました。感謝です。





ぼっचा DE あそボッチャ!

2025 年 4 月 19 日 (土)

13:30~17:00

参加費: 200 円

富山市障害者福祉プラザホール

持ち物

内履き・飲み物・タオルなど

締切は 4 月 6 日です



パラリンピックの種目でもあるボッチャ。誰でも楽しめます!
夢宙人のぼっちは、更にルールを簡単にして、また個人ではなくペアを組むことで協力しながら楽しめるようにしています。テレビでしか見たことない人も、今回初めて知った人も、誰でも楽しめます♪
ルールも、やりながらお伝えするので大丈夫ですよ! ぜひ一緒に楽しみましょう!
※介護等の支援が必要な方は、移動支援などをご利用下さい!



主催・お問合せ先

夢宙人

誰でも楽しめるレクリエーション推進中

muchu.jin.55@gmail.com

090-3767-7292 (シミズ)

レクリエーション部「夢宙人」会議報告

1月27日月曜日

オンライン参加3名 欠席1名

◎今後の予定

ボッチャ 13:30～16:30

場 所：福祉プラザ

参加費 200円

候補日：3月22日（土） 3月10日（月）参加締め切り

4月19日（土） 4月7日（月）参加締め切り

福祉プラザの場所を予約する。

ビラを作成

◎来年度の予定（2025年度）

リアル飲み会 4～7月の間

バーベキュー 9～11月の間

ボッチャ 3月

オンライン会議 6回予定

この後それぞれの行事の予算を決めた。

「障」ちゃんニュース編集会議報告

2月4日火曜日

出席者：4名 オンライン出席1名 欠席1名

・ 2月1日発行号、発送終了 501部

・ 3月1日発行号について、

できあがった原稿をメールで送る。内容はN氏の富山短大での話とレクリエーションの会議の記録、運営会議の記録

本日締め切りの予定だったが、追加で部会の報告とボッチャのチラシを入れる予定なので締め切りを延ばす。巻頭言仕上がり次第送る。21日印刷予定。

・ 4月1日発行号について

3月7日金曜日原稿締め切り。21日印刷予定

内容はペン子、各部からの記録、他の編集委員に何か書いてもらう。N氏が**冒頭の一言**を担当する。

次回の編集会議は3月4日火曜日午後1時30分から

2 月 4 日障害者部会議報告

オンライン参加者・3名・欠席者・1名

来年度の計画について

- 1、ka氏から、「サンフォルテフェスティバルのワークショップに参加してみるのはどうか？」と意見が出た。このワークショップとは、多々あるNPOの活動を紹介するイベントだそうだ。ワークショップについてはホームページ等で各々が調べてきて、参加するかどうかを決める。
- 2、ku氏から、「ヘルパー不足をどうしたら少しでも解消できるかを、皆で考え行動をしていかないといけないのではないか！」という意見が出た。
これについては、富山大学にバイトの募集をかけたたり、富山情報や Facebook に募集を載せているが、専門学校にも募集をしに直接行った方が良い。という意見が出た。少し暖かくなったら専門学校に募集をしに出向く事になった。
- 3、O氏から「富山地方鉄道の市内電車の富山大学前から南富山駅間の低床電車についてだが、今現在、低床電車が一本も走っていないので、南富山駅行きの電車に乗りたい場合、必ず低床電車が来るので富山駅で乗り換えてほしい。乗車は危ないと言われる。駅員は手伝ってくれない。乗り換えには倍の 420 円かかる。地铁側から乗り換えを勧めるのなら 210 円のまま行けるようにしてほしい。富山駅から岩瀬浜行きのレールが低床電車しか走れないのでそちら優先になるのは分かるが、一本はあっても良いと思う。古い市内電車の段差は高く、車椅子利用者だけでなく、高齢者も困ると思う。コンパクトシティ化や少子高齢化、高齢者運転

の危険性による免許返納などの面から考えても、市電はこれからも富山県民の足とならなければいけないものだ。タクシーもコロナの影響で実際に利用しても30分以上は待ち、ドライバーからも運転手が少ないと聞く。大和や総曲輪、アピタ富山店も、市電やバス等で直通に行けると楽だ。地域に住む障害者は、皆車を持っている訳ではない。私は地域で暮らし、死ぬまで色々な所に行きたいと思っている。」という文が送られてきた。この文章をたたき台にして地铁に申し入れを行ったり要望書を書く事になった。

バリアフリー化について

自分達が住んでいる地域のバリアフリー化が進むように働きかけていく。その方法としては、その場所に申し入れをしに行く、または要望書を書く。要望書の書き方は、部会員が住んでいる地域でバリアフリー化が進んでいなく、その地域に住んでいて、近隣の店や施設を利用したいと考えていても、バリアフリーになっていなく利用し辛いと感じている障害者部会員が、要望書のたたき台を書いてきて、それを障害者部会で完成させて要望書を送る事により、誰もが住みやすい地域になるように活動していく。

文責・中村



運営会議報告 1月28日火曜日

出席者9名 オンライン出席2名 欠席2名

●各部からの報告

・学習会

来年の計画を立てている。講演会をしたく講師の方に依頼したが許諾が得られなかった。

・障害者部会

1月14日に富山短期大学健康福祉学科に N 氏が出向いて1年生の授業を行ってきた。

来年度、障害者部会としてどのような活動をするか話し合い、先ずバリアフリー化が進むように要望書を出すことにした。自分たちが困っている場所に、利用している部会員が要望書のたたき台を書き、それを部会で完成させ、要望書を送り、誰もが住みやすい地域にするように活動する。

・派遣

退職者がいるため、求人の募集をかけている。

・レクリエーション

4月19日土曜日、ボッチャを福祉プラザでやる予定。13時半から16時半まで。参加費は200円。参加の締め切りは4月7日です。みなさん、参加をお願いします。

来年度の話も少ししまして、ボッチャとリアル飲み会とバーベキューを考えている。

・障ちゃんニュース

障ちゃんニュース 296 号は発送を完了した。

次回の原稿の締め切りは 2 月 4 日火曜日

・ まっち

30 号は完成し配り終えた。来号のテーマは「歳を経て」になった。締め切りは 4 月末で、発行が 5 月の末の予定。テーマに関係なく原稿を随時募集している。

● その他

・ 来年度の計画と予算について

来年度の計画と本年度の会計報告、来年度の予算を決めて事務局員まで送ること。

・ 使われていない備品の片付けについて

この事務所へ引っ越してもう約 2 年が経過し、当初 2 階に運んだ荷物は手づかずのままの備品がたくさんある。障害者スタッフは 2 階に上がれないので、何がどこにあるかわからないので、1 階におろすものはおろし活動しやすくする。今期中に整理する。

・ 富山県のボランティア推進の機関紙について

寄稿コーナーに、県内の N P O 法人団体の紹介をリレー方式でやるコーナーがある。今回は C I L 富山から文福への紹介を受けた。紹介文を理事長が作成し配布する。

・ 来年度の行事と研修の計画について

文福はどういう所か分からない方もいるので、全職員に向けて研修を行いたい。

次回の運営会議は、2 月 2 5 日（火）1 4 時から



◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎ぼっちゃDEあそボッチャ!

日 時：4月19日(土) 13:30から17:00

場 所：富山市障害者福祉プラザホール

参加費：200円

詳細は4ページに掲載しています。



ありがとうコーナー

2025年



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年もよろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年は、節分が過ぎてから最強の寒波が来て、富山も大雪になっています。12月の終わりから青森や山形、新潟が大雪に見舞われていますが、この寒波で一層積雪が増えていると思います。地球温暖化の影響があると思います。

春が待ち遠しい今日この頃です。

(アパッチ)

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぶく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。